

## 青森家庭少年問題研究会 10 年間のあゆみ

### 2002 年度

11 月 4 日 講演会・シンポジウム「少年問題に対する司法・教育と大学との連携を探る」  
講演会

第 1 講演 山城 司（青森家庭裁判所弘前支部裁判官）「少年事件の現状と課題」

第 2 講演 小宅 大典（元青森家庭裁判所主任調査官）「少年事件と家庭裁判所調査官の役割」

シンポジウム「現代社会と少年問題を考える」

パネリスト：山城 司（青森家庭裁判所弘前支部裁判官）

小宅 大典（元青森家庭裁判所主任調査官）

古川 成一（青森家庭裁判所弘前支部書記官）

佐藤 満廣（弘前大学非常勤講師・元中学校校長）

弘前大学人文学部「法情報学実習」プロジェクトチーム

コーディネーター：村田 輝夫（弘前大学人文学部）

### 2003 年度

（2004 年）

3 月 13 日 シンポジウム「現代の青少年問題を考える～八戸地域の司法・教育の現場から～」

パネリスト：芹澤 俊明（青森家庭裁判所八戸支部裁判官）

小野寺 實（八戸市立下長中学校長）

コーディネーター：村田 輝夫（弘前大学人文学部）

### 2004 年度

7 月 青森家庭少年問題研究会発足（会長：村田 輝夫（弘前大学人文学部教授（当時）））

7 月 3 日 第 1 回学習会

話題提供者：最上 和幸（青森県中央児童相談所こども相談第二課長）

テーマ：「少年非行問題における児童相談所の役割と課題」

11 月 6 日 第 2 回学習会

話題提供者：藤木 勝司（青森県立子ども自立センターみらい児童自立支援専門員）

テーマ：「少年非行問題における児童自立支援施設の役割と課題」

11 月 29 日 第 3 回学習会

話題提供者：佐藤 祐一（青森家庭裁判所次席家庭裁判所調査官）

斎藤 修（青森家庭裁判所弘前支部上席主任家庭裁判所調査官）

テーマ：「試験観察中の学生ボランティアの実情と課題」

12 月 11 日 第 4 回学習会

話題提供者：神 照文（児童養護施設弘前愛成園次長）

テーマ：「家庭・少年問題における児童養護施設の役割と課題」

（2005 年）

3 月 19 日 少年非行を考える講演会・シンポジウム

講演者：守屋 克彦（東北学院大学法科大学院教授、元裁判官）

テーマ：「現代の少年非行を考える」

## 2005 年度

3月 青森家庭少年問題研究会学生部会発足

6月25日 総会・第1回学習会

話題提供者：猿渡 智衛（弘前大学大学院地域社会研究科博士課程）

テーマ：「開かれた学校づくりと子供の居場所づくり－横浜市放課後児童養成施設の事例－」

8月11日 第2回学習会（施設見学）

青森少年院、青森県立子ども自立センターみらい、青森刑務所、青森少年鑑別所、  
青森中央児童相談所

12月14日 第3回学習会

話題提供者：藤木 勝司（青森県立子ども自立センターみらい児童自立支援専門員）

（2006年）

1月12日 第4回学習会

話題提供者：大西 香代子（弘前大学医学部保健学科）

テーマ：「思春期と家族」

（2006年）

2月15日 第5回学習会

話題提供者：村田 輝夫（弘前大学人文学部教授）

テーマ：「少年非行問題と大学教育の可能性」

## 2006 年度

6月24日 総会・第1回学習会

話題提供者：飯 考行（弘前大学人文学部専任講師）

テーマ：「司法へのアクセスと市民参加－司法制度改革と少年法改正－」

8月2日 第2回学習会

施設見学

青森県立子ども自立センターみらい、青森少年院

8月7日 第3回学習会

話題提供者：鷺岳 覚（青森明の星短期大学専任講師、元少年院法務教官）

テーマ：「少年非行の心理と対応」

（2007年）

1月13日 第4回学習会

話題提供者：高瀬 雅弘（弘前大学教育学部専任講師）

テーマ：「近代日本の〈学校から職業への移行〉－歴史的展開からみえてくるもの－」

3月7日 第5回学習会

話題提供者：村田 輝夫（関東学院大学法科大学院教授、元弘前大学人文学部教授）

テーマ：「法科大学院の現状と課題」

## 2007 年度

4月 青森家庭少年問題研究会学生部会が teens&law に名称変更

5月26日 子ども自立センターみらいでのスポーツ交流実施（teens&law・BBS）

6月 共同代表制へ

(村田 輝夫 (関東学院大学法科大学院教授)、宮崎 秀一 (弘前大学教育学部教授)、最上和幸 (青森県庁))

6月23日 総会・第1回学習会

話題提供者：齋藤 史彦 (青森県立保健大学健康科学部専任講師)

テーマ：「非行少年への自立支援ー就労支援を中心にー」

7月30日～ 子ども自立センターみらいでの夏休み日課学習会の学ボラ実施 (5日間)

8月9日 第2回学習会

施設見学

青森少年院、青森少年鑑別所

9月27日 第3回学習会

話題：「学生ボランティア活動における少年への接し方」

ボランティアを経験した弘前大学学生 (teens & law 所属) の体験談

ボランティアを見守った家庭裁判所調査官と児童自立支援施設職員のコメント

東京少年友の会学生ボランティアの研修の実情紹介

少年院法務教官経験者・心理学者のコメント

全体討論

10月27日 teens&law として初めて大学祭で模擬裁判を実施  
(2008年)

1月13日～2月23日 子ども自立センターみらいで中3生を対象としたサンデー学ボラ (毎日曜日) 実施

3月8日 第4回学習会

学生卒業報告 (共催：teens&law)

北村 和代 (弘前大学教育学部4年) 「人権教育のあり方について」

盛田 桃子 (弘前大学教育学部4年) 「少年事件における実名報道について」

五日市 健佑 (弘前大学大学院人文社会科学科修士課程2年)

「裁判員の参加する刑事裁判における量刑判断基準のあり方の検討」

シンポジウム「法科大学院進学の実況ー青森県における法曹養成のあり方を考える」

(共催：弘前大学人文学部現代社会課程法学コース)

報告

村山 彰彦 (弘前大学人文学部4年、立命館大学法科大学院進学予定)

「プロセスとしての法科大学院ー『未修者』として受験した立場から」

村田 輝夫 (関東学院大学法科大学院教授、前弘前大学人文学部教授) 「法科大学院の現状と課題」

パネルディスカッション

パネリスト：

村田 輝夫 (関東学院大学法科大学院教授、前弘前大学人文学部教授)

三上 雅通 (弁護士、慶應義塾大学法科大学院教授)

平野 潔 (弘前大学人文学部准教授)

黒崎 優、佐藤 直樹、佐藤 朱耶、村山 彰彦

(弘前大学人文学部4年生、今春からの法科大学院進学予定者)

## 2008年度

4月19日～ 子ども自立センターみらいでのサタデー学ボラ開始 (毎土曜日)

6月28日 総会・第1回学習会

話題提供者：豊嶋 秋彦 (弘前大学教育学部附属教育実践総合センター教授)

テーマ：「非行・逸脱・離脱の背景」

8月6日 第2回学習会（施設見学）

青森少年院、青森刑務所

9月27日 第3回学習会

話題提供者：福田 健太郎（弘前大学人文学部専任講師）

テーマ：「学校事故と学校設置者の責任」

10月28日 第4回学習会

話題提供者：若松 孝之（青森保護観察所処遇部門保護観察官）

テーマ：「保護観察官の職務とBBS」

12月12日 第5回学習会

第1部 話題提供者：村田 輝夫（関東学院大学法科大学院教授）

テーマ：「法科大学院の現状と展望－法科大学院と新司法試験制度の到達点と課題」

第2部 一年の活動を振り返って

村田 輝夫、宮崎 秀一、最上 和幸、鷲岳 覚、齋藤 史彦、飯 考行

「非行少年自立支援『学生ボランティア』活動の学際的研究」

自由討議

12月20日 第6回学習会

テーマ：「学生ボランティア・ワークショップ」

児童自立支援施設における学習支援、家庭裁判所試験観察少年への学習支援、保護観察少年へのBBS友達活動に関する各担当学生の報告と担当職員のコメントなど

(2009年)

3月7日 第7回学習会（共催：teens&law）

学生卒業報告

瀧口 基子（弘前大学人文学部4年）「緊急避難の法的性格と強要による行為」

高田 毅（弘前大学大学院社会科学研究科応用社会科学専攻2年）「文書偽造罪における有形偽造概念」

木村 鈴菜、齋地 美菜子（弘前大学人文学部4年）「学生ボランティアを体験して」

法科大学院生講演

村山 彰彦（立命館大学大学院法務研究科法曹養成専攻1年）

「プロセスとしての法科大学院Ⅱ－実際に入学して見えてきたもの－」

3月22日 非行少年自立支援「学生ボランティア」シンポジウム

第1部：研究報告「青森・弘前地区における『学生ボランティア』実践の現状と課題」

村田 輝夫「総合的考察」

宮崎 秀一「青森・弘前地区『学ボラ』の現状」

最上 和幸「みらい学ボラ実施状況」

鷲岳 覚「学生ボランティアが少年の自立支援に与える影響」

齋藤 史彦「学生ボランティア活動が学生にもたらす効果に関する調査の概要」

飯 考行「少年司法教育の意義と学ボラとの連携」

村田 輝夫「大学を拠点とした地域連携型少年支援の可能性－ネットワークイメージー」

第2部：シンポジウム「非行少年自立支援における『学生ボランティア』の可能性」

パネリスト：黒川 昌郎（東京少年友の会理事）

小林 英義（秋田大学教育文化学部教授）

若松 孝之（青森保護観察所保護観察官）

最上 和幸（青森県立子ども自立センターみらい指導課長）

宮崎 秀一 (弘前大学教育学部教授)  
コーディネーター：村田 輝夫 (関東学院大学法科大学院教授)  
鷲岳 覚 (青森明の星短期大学専任講師)

## 2009 年度

- 6月27日 総会・第1回学習会  
話題提供者：青森県弁護士会法教育委員会所属弁護士  
テーマ：「弁護士による法教育模擬授業」
- 8月4日 第2回学習会 (施設見学)  
青森少年院、青森児童相談所
- 10月10日～11月7日 裁判員制度施行記念企画 連続講演会・シンポジウム  
「裁判員制度と世界の司法動向ー市民の司法参加の意義を考えるー」(後援)  
(主催：弘前大学人文学部)
- 10月26日 青森県高校長会・人権部会研修会  
「これからの法教育・人権教育のあり方～裁判員制度の発足を契機として～」  
竹ヶ原 恭兵、石塚 優士、鳴海 翔 (アドバイザー：宮崎 秀一・平野 潔)
- 12月19日 第3回学習会  
第1部 学生ボランティアケース検討会  
話題提供者：ボランティア体験学生、各担当の家裁調査官、みらい職員、保護観察官  
家裁学ボラー成田 正子、佐野 和貴子 (原田調査官と酒井調査官のコメント)  
みらい学ボラー鳴海 翔、畠山 史、山下 晃平 (最上さんのコメント)  
BBS学ボラー田代 英俊 (若松さんのコメント)  
全部を経験ー石塚 優士
- 第2部 裁判員裁判ケース検討会  
話題提供者：山内 賢二 (県内2例目担当弁護士)、平野 潔、竹ヶ原 恭兵、三上 亜弓  
(2010年)
- 3月3日 第4回学習会 (函館施設見学)  
自立援助ホーム「ふくろうの家」、函館少年刑務所、北海道立大沼学園 (児童自立支援施設)

## 2010 年度

- 6月26日 総会・シンポジウム「児童虐待のない地域をめざして」  
シンポジスト：鳴海 明敏 (児童心療育施設青森あおぞら学園)  
鷲岳 覚 (青森明の星短期大学カウンセリング研究所)  
沼田 徹 (弁護士)  
竹達 一美 (公立小学校 PTA 役員)  
コーディネーター：最上 和幸 (七戸児童相談所)
- 8月3日 第2回学習会 (施設見学)  
青森少年院、青森刑務所
- 12月18日 第3回学習会  
第1部 teens&law 活動報告  
第2部 山本毅会員叙勲記念講演「副検事人生の歩み～思い出の事件を語る」

## 2011 年度

- 6月18日 総会・シンポジウム「タイガーマスク現象から考える～児童福祉施設の現状と支援の在り方～」  
シンポジスト：後藤 辰也（児童養護施設美光園）－児童養護の現場から  
弘前大学 teens & law－施設ボランティア活動の立場から  
最上 和幸（七戸児童相談所）－福祉行政の視点から  
齋藤 史彦（県立保健大学）－児童福祉研究の視点から  
コーディネーター：神 照文（元養護施設職員・家庭少年問題研究会会員）
- 8月3日 第2回学習会（施設見学）  
青森少年院、青森少年鑑別所
- 12月3日 第3回学習会  
話題提供者：金澤 拓紀（家庭訪問サポート「つがる・つながる」代表）  
テーマ：「不登校児童生徒の現状と課題～全国と青森県～」

## 2012 年度

- 6月16日 総会・シンポジウム「孤独・孤立死の対応と課題－高齢者、障害者、被災者を中心に」  
講話：神 照文（ほっとハウス JIN）「高齢者の疾病予防と見守り」  
西村 愛（青森県立保健大学）  
「障害者家族の孤独死から考える－多問題化に対応するアウトリーチセンターの必要性」  
飯 考行（弘前大学）「東日本大震災後の被災者の生活環境」
- 8月10日 第2回学習会（施設見学）  
青森少年院、青森刑務所、青森少年鑑別所

## 2013 年度

- 6月15日 総会・第1回学習会  
話題提供者：鈴木 憲治（青森家庭裁判所首席調査官）  
テーマ：「子どもの内なる声を聴く～家事事件における子の福祉～」
- 7月20日～ ひとり親家庭学習支援「サタディ☆くらぶ」開始
- 12月14日 シンポジウム「受刑者の権利保障と社会復帰に向けて」  
（共催：弘前大学人文学部現代社会課程法学コース）  
平野 潔（弘前大学）「企画趣旨と裁判員裁判後の（元）被告人」  
河合 正雄（弘前大学）「受刑者の権利保障の現状」  
五十嵐 弘志（民間非営利団体マザーハウス・代表、VIP プリズム・会長）  
「人生は出逢いで決まる」

(2014 年)

- 3月1日 第2回学習会  
話題提供者：最上 和幸氏（青森県庁）  
テーマ：「ひとり親家庭学習支援『サタディ☆くらぶ』の活動経過」  
話題提供者：飯 考行氏（弘前大学）  
テーマ：「若年被告人の裁判員裁判における量刑判断－三沢強盗致傷事件の事例を中心に」